

たじみ子どもの権利の日事業
第18回たじみ子ども会議

シリーズ「つながり」vol.14

みんなあつまれたじみっ子!

～気軽にはなそう

いじめとグルメ～

意見書



平成28年3月

～ も く じ ～

★ はじめに

1、意見

2、「できること」宣言

3、^{その他} たいじみ子ども会議 子どもスタッフめいば



《はじめに》

今回のテーマを「みんなあつまれ たじみ子！
気軽に話そう いじめとグルメ」としました。
「いじめ」にした理由は、最近では学校内でいじ
めに関する問題が多く、学校でいじめを受けて
悩んでいる子や、学校に登校できない子がいま
す。いじめで悩んでいる子がすこしでも楽しく
生活できるように「いじめ」をテーマの1つと
しました。また、第13回子ども会議でいじめを
テーマにして話したと作成した「できること
宣言」を見直しました。

もう一つのテーマを「グルメ」にした理由は
「楽しく生活する」というところから、食べる
こと＝グルメも生活する上での楽しみの1つで
す。身近な学校給食について、いづれも食べてい
る給食のいいところと直してほしいところを話
し合うこと。そして多治見の特徴を取り入れた
新しい名物を考える。この2つのことから多治
見をもっと盛り上げたいと思いテーマの1つと
して話し合いました。

この会議で出た意見が多治見市のまちづくり
に反映されることを願います。

1 意見



うながっは'グミ
(オレンジ味)

グルメ（給食）グループ

給食の役割, 良さ!

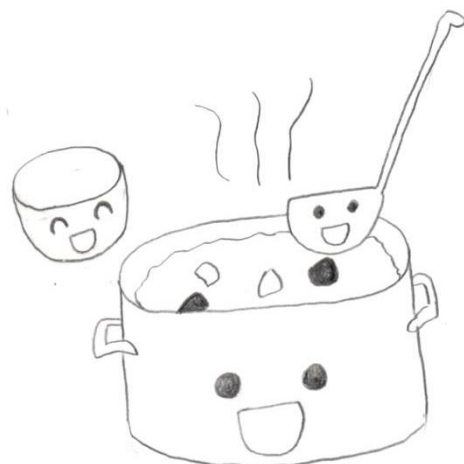
- 3食のうち1食である給食はとても大切。
- 必要な栄養をとれる。
- みんなと食べながら、学校生活が楽しくなる
- 各地域の伝統的な食文化について学べる
- 毎日違ったメニューが食べられる。
- 配膳マナーが学べて、身につく。

栄養はあるけれど・・・



給食の改善してほしいところ

- 量が多い
- 早く食べなければいけないのが大変
- 味付けが不思議



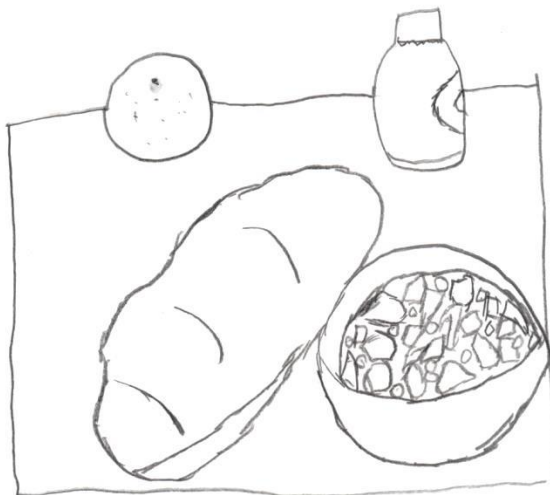
ごはんの量を減らしてほしい

人それぞれ食べる量はちがいます
ごはんの量が多くて早く食べることが
できない。

時間があっても量が多くて食べられ
ない人がでてくる。



おたまみたいなので同じ量をすくい、
もっと食べたい人はそこからつけたしていく。

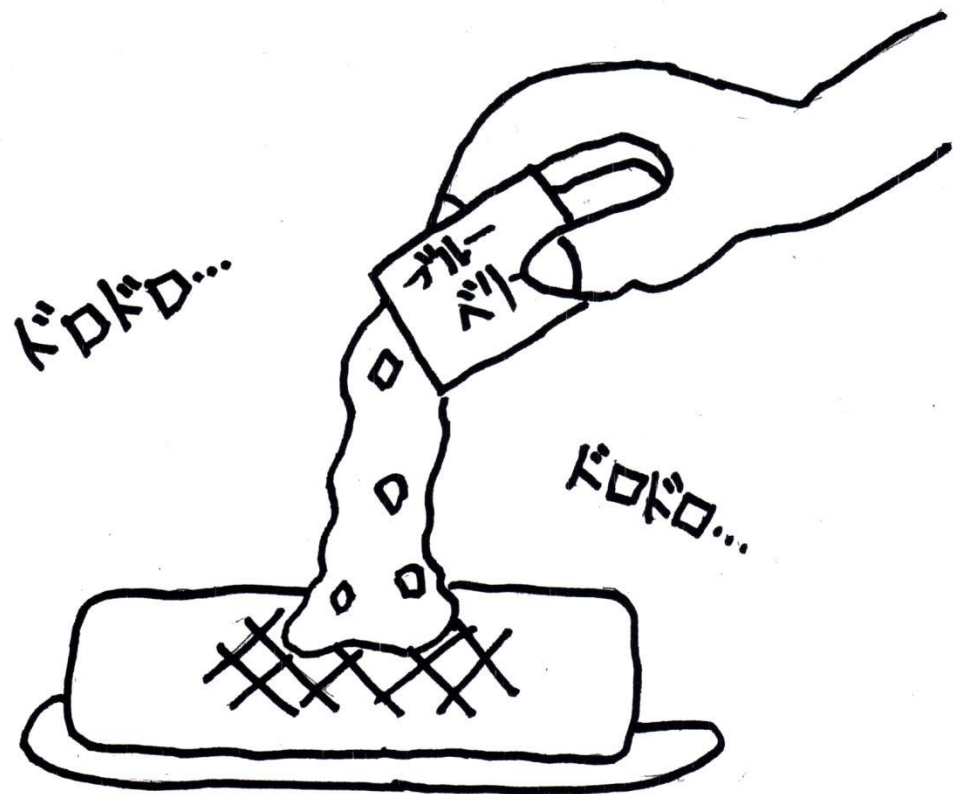


一般的な味つけにして！

給食には、栄養があっていいけれど、味つけが不思議で食べにくいものがあります。
その中でも...

- ひじきのマヨネーズあえ
- かぼちゃのレモンに
- 肉とブルーベリージャム などがあります。

なので、一般的な味つけにして、みんなが食べやすいようにしてほしいです。そうすると、残す量も減るし、おいしく栄養がとれます。



あたたかい給食を出してほしい

- 白米が冷たい
- 温かいメニューは、さめているとおいしくない。だから、温かいメニューはよりあたたかく。
- 冷たいメニューはより冷たく。

たとえば

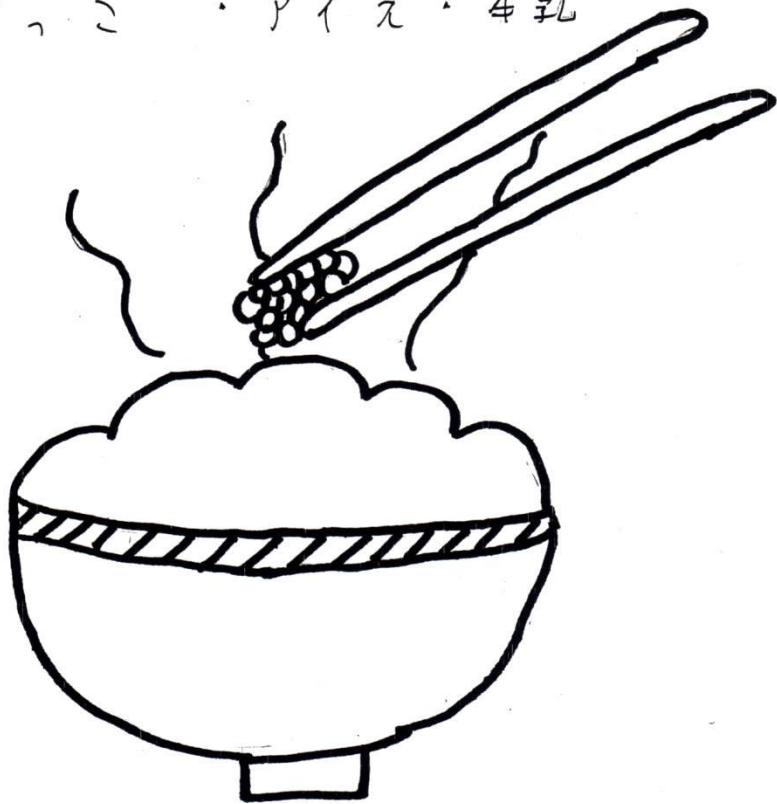
し 温かいメニュー

・汁

みそ汁 どん汁 だし汁

(冷めたいメニュー)

・めざし こ ・アイス ・牛乳



新しい名物で多治見を もっと楽しく

今の多治見の名物に、

- ・ラーメン
- ・たじみそやしそば
- ・うなぎ
- ・たじみあられ
- ・うながっはのおかし などいろいろあるけど

もっと盛り上げるために、多治見らしさをキーワードに
名物を考えました。

めん類部門

アユやしそば

おかし部門

タイルクッキー

うながっは部門

うながっはクミ

うなぎ部門

うなぎあられ

飲み物部門

いちゅうサイダー



いじめグループ

大人に知っていてもらいたいこと

○大人として、人間として聞いてほしい。

○偏見や思い込みに囚われないで、
子供の話を聞いてほしい

○子供が自分の気持ちを
話せたら、話の腰を折らずに、
共感してほしい。



つらかったよね。

↓
大人の意見を、

「それだったら〇〇すれば」
「よかったのに」

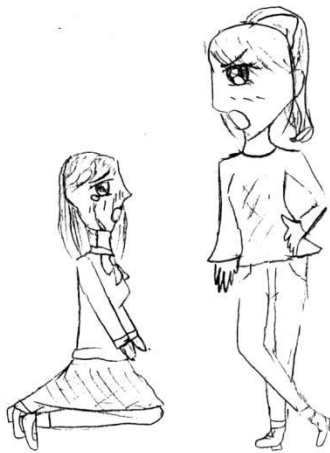
などと、狭まらないということ。

2. 「できること」宣言



『あの子からのSOS～子どもにできること』

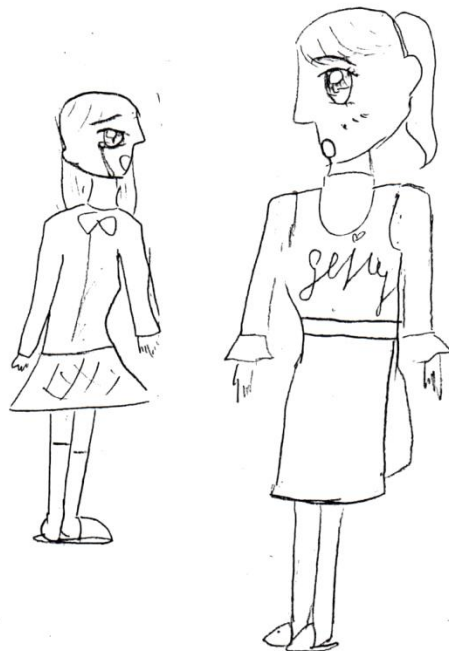
- 。みんなと話し合おう。
- 。ゴメンと言える素直な気持ち。
- 。こまっている人がいたら自分から自信を持ち助けに行く。
- 。いじめはか、こわるい。いじめを消す。
- 。気持ちをふける、自己主張。
- 。周りの子の思いを聞く。
- 。勇気を持つ。
- 。一人の子がいたら声をかける。
- 。「あなたは悪くない」「助けてもらってもいい」「弱いんじゃない」と伝える。
- 。あなたのそばにいつもいるよ。
- 。こまっている人に進んで声をかける。
- 。心にためこまないでそ、と話してみしてほしい。
- 。知らない人とはSNSやメールをしない。
- 。相談にのる。



※ これは、第13回たじみ子ども会議で作られたものを参考に作られています。

「あの子からのＳＯＳ～大人ができること」

- 。大人として人間として聞いてあげる。
- 。偏見や思い込みに囚われないで
子どもの話を聞いてあげたい。
- 。「あなたは悪くない」「助けてもらってもいい
「弱いんじゃない」と伝える。
- 。あなたの側にいつもいるよ。
- 。相談にのる。
- 。心にためないでそ、と話してみてもいい。
き、と聞いている人はいるよ。



※ これは第13回たじみ子ども会議で作られたものを参考に作られています。

たじみ子ども会議子どもスタッフ

平成28年3月現在



【子どもスタッフ】

柚木崎 智宏（高2年）
佐伯 怜央（高1年）
池庭 大翔（中3年）
飯村 尚真（中2年）
堀井 寧公（中2年）
水野 優香（高1年）
寺澤 未歩（高1年）
田中 凌太郎（高1年）
佐伯 花恋（中1年）
田中 健次郎（中3年）
鈴木 英園（中2年）
丸井 絢捺（中1年）
水野 玲香（小6年）
安田 雛凧（高2年）
宮本 梨央（小5年）

牧田 萌百花（小5年）
丸井 珠莉（小5年）
野上 里穂（高2年）
熊本 佳祐（中1年）
長谷川 慶乃（小6年）
渡辺 楓（高2年）
亀山 愛華（小5年）
若井 萌恵（小6年）
菅 汐里（小6年）
菅 汐夏（小4年）
大矢 陽菜（小5年）
堀井 寧月（小4年）
林 莉杏（小4年）
戸本 和馬（小6年）